



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月22日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマザキ

コード番号 6147 URL <https://www.yamazaki-iron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 好和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼内部監査室長

(氏名) 大杉 幸弘

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

TEL 053-434-3011

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	3,666	8.7	129	△56.5	126	△55.4	85	△60.9
2019年3月期	3,372	10.0	297	233.7	284	286.8	218	366.5

(注) 包括利益 2020年3月期 0百万円 (△99.3%) 2019年3月期 140百万円 (152.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	19.30	19.29	4.1	2.6	3.5
2019年3月期	49.48	49.16	10.6	5.9	8.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,606	2,103	45.7	474.03
2019年3月期	5,099	2,124	41.6	478.87

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,103百万円 2019年3月期 2,123百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△560	326	△194	124
2019年3月期	604	△280	53	553

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	22	10.1	1.1
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	44	51.8	2.1
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00	—	—	—

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	△5.8	51	—	44	—	38	543.8	8.56
通期	2,900	△20.9	120	△7.3	105	△17.1	95	11.0	21.41

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	4,579,000 株	2019年3月期	4,576,000 株
2020年3月期	141,718 株	2019年3月期	141,718 株
2020年3月期	4,436,101 株	2019年3月期	4,425,818 株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	3,181	15.7	108	△53.6	107	△53.5	70	△60.3
2019年3月期	2,750	16.5	233	—	231	—	177	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	15.87	15.86
2019年3月期	40.07	39.81

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2020年3月期	4,368		1,912	43.8			431.00	
2019年3月期	4,858		1,932	39.8			435.61	

(参考) 自己資本 2020年3月期 1,912百万円 2019年3月期 1,931百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益及び雇用情勢の改善等により、緩やかな回復基調が続いていたものの、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国内外の景気は急速に悪化しており、先行きは極めて不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、顧客第一主義に徹し、積極的な営業活動を行った結果、当連結会計年度における売上高は36億6千6百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

利益面につきましては、加工工程の効率化及び最適な人員配置等様々な原価低減活動を行ったものの、大型案件の集中による追加的な人件費や外注加工費等の費用が発生したことにより、営業利益は1億2千9百万円(前年同期比56.5%減)、経常利益は1億2千6百万円(前年同期比55.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は8千5百万円(前年同期比60.9%減)となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。(各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。)

自動二輪車等部品事業につきましては、ベトナムの子会社YAMAZAKI TECHNICAL VIETNAM CO., LTD. の販売は減少し、売上高は11億2千4百万円(前年同期比6.1%減)となり、営業利益は1千1百万円(前年同期比72.8%減)となりました。

工作機械事業につきましては、省力化機器、専用工作機械共に販売が増加し、売上高は25億6千4百万円(前年同期比16.6%増)となりましたが、期末にかけて大型案件が集中し、追加的な人件費や外注加工費等の費用が発生したことにより、営業利益は1億4百万円(前年同期比56.6%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.1%減少し、28億1百万円となりました。

これは、主に受取手形及び売掛金が4億2千1百万円増加したものの、現金及び預金が9億1千7百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、18億5百万円となりました。

これは、主に有形固定資産が6千万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9.7%減少し、46億6百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13.9%減少し、20億9千4百万円となりました。

これは、主に前受金が3億4千万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて24.7%減少し、4億8百万円となりました。

これは、主に長期借入金が8千6百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて15.8%減少し、25億3百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、21億3百万円となりました。

これは、主に利益剰余金が6千3百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が6千8百万円減少したことによるものです。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて4円84銭減少し、474円3銭となりました。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.6%から45.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フロー（支出）は、5億6千万円（前年同期は6億4千万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加額3億5千4百万円及び前受金の減少額3億4千万円等が税金等調整前当期純利益1億1千万円及び減価償却費1億9百万円等を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フロー（収入）は、3億2千6百万円（前年同期は2億8千万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入12億1千5百万円等が定期預金の預入による支出7億2千9百万円等を上回ったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フロー（支出）は、1億9千4百万円（前年同期は5千3百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億6千8百万円及び短期借入金の純減少額1億5百万円等が長期借入れによる収入1億円等を上回ったことによるものです。

以上の結果、当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、1億2千4百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	41.2	44.1	43.4	41.6	45.7
時価ベースの自己資本比率	41.4	41.8	41.6	33.9	28.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3,986.0	432.5	7,560.4	332.0	△327.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	2.0	25.8	1.3	29.9	△30.8

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きの不透明な状況が続くものと思われまます。当社グループにおきましても、自動車メーカーの稼働停止や経済活動の停滞により、売上は減少する見込みであります。感染症の影響期間は現在のところ不透明ではありますが、第3四半期以降は徐々に回復に向かうことを想定しております。

このような状況のもと、次期の業績予想につきましては、売上高29億円、営業利益1億2千万円、経常利益1億5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益9千5百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また海外からの資金調達必要性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,837,789	919,984
受取手形及び売掛金	689,601	1,111,342
電子記録債権	396,231	325,544
製品	23,128	33,395
仕掛品	258,118	309,835
原材料及び貯蔵品	72,632	79,233
その他	22,418	22,297
流動資産合計	3,299,920	2,801,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,211,738	1,247,559
減価償却累計額	△1,071,402	△1,077,704
建物及び構築物(純額)	140,336	169,854
機械装置及び運搬具	2,158,685	2,196,615
減価償却累計額	△1,841,716	△1,851,206
機械装置及び運搬具(純額)	316,969	345,409
工具、器具及び備品	553,404	539,942
減価償却累計額	△535,965	△527,727
工具、器具及び備品(純額)	17,439	12,215
土地	770,635	770,635
建設仮勘定	1,349	9,095
有形固定資産合計	1,246,729	1,307,209
無形固定資産		
投資その他の資産	43,422	49,495
投資有価証券	391,511	328,394
長期貸付金	113,388	110,832
その他	20,739	26,276
貸倒引当金	△16,268	△16,872
投資その他の資産合計	509,371	448,631
固定資産合計	1,799,523	1,805,336
資産合計	5,099,444	4,606,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,304	130,474
短期借入金	1,560,000	1,455,000
1年内返済予定の長期借入金	164,452	182,212
前受金	340,740	-
未払事業所税	9,500	9,568
未払法人税等	52,169	14,824
賞与引当金	57,890	64,276
受注損失引当金	-	3,505
その他	136,662	234,794
流動負債合計	2,431,719	2,094,655
固定負債		
長期借入金	283,236	197,127
繰延税金負債	33,342	7,824
退職給付に係る負債	202,053	194,484
資産除去債務	9,493	9,493
その他	15,243	-
固定負債合計	543,367	408,929
負債合計	2,975,087	2,503,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	971,601	972,195
資本剰余金	819,167	819,760
利益剰余金	390,587	454,031
自己株式	△85,038	△85,038
株主資本合計	2,096,317	2,160,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,513	37,973
為替換算調整勘定	△79,392	△95,536
その他の包括利益累計額合計	27,121	△57,563
新株予約権	917	-
純資産合計	2,124,356	2,103,384
負債純資産合計	5,099,444	4,606,969

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	3,372,980	3,666,014
売上原価	2,454,507	2,855,851
売上総利益	918,472	810,162
販売費及び一般管理費	620,667	680,675
営業利益	297,804	129,486
営業外収益		
受取利息	13,559	9,899
受取配当金	8,136	8,313
有価証券利息	-	1,053
その他	4,146	3,799
営業外収益合計	25,842	23,066
営業外費用		
支払利息	19,729	18,114
手形売却損	1,066	255
為替差損	16,891	6,244
その他	1,847	1,213
営業外費用合計	39,534	25,826
経常利益	284,112	126,726
特別利益		
固定資産売却益	166	593
投資有価証券売却益	-	10,000
新株予約権戻入益	1,526	888
特別利益合計	1,692	11,481
特別損失		
固定資産除却損	10,269	1,079
役員退職慰労金	3,000	-
役員弔慰金	-	27,000
特別損失合計	13,269	28,079
税金等調整前当期純利益	272,535	110,128
法人税、住民税及び事業税	48,850	21,168
法人税等調整額	4,690	3,344
法人税等合計	53,541	24,512
当期純利益	218,994	85,615
親会社株主に帰属する当期純利益	218,994	85,615

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	218,994	85,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61,309	△68,540
為替換算調整勘定	△17,600	△16,144
その他の包括利益合計	△78,910	△84,685
包括利益	140,084	930
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	140,084	930

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	966,829	836,435	171,592	△85,038	1,889,819
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	4,772	4,772			9,545
剰余金(その他資本剰余金)の配当		△22,041			△22,041
剰余金の配当					-
親会社株主に帰属する当期純利益			218,994		218,994
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	4,772	△17,268	218,994	—	206,498
当期末残高	971,601	819,167	390,587	△85,038	2,096,317

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	167,823	△61,792	106,031	3,044	1,998,895
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					9,545
剰余金(その他資本剰余金)の配当					△22,041
剰余金の配当					-
親会社株主に帰属する当期純利益					218,994
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△61,309	△17,600	△78,910	△2,127	△81,037
当期変動額合計	△61,309	△17,600	△78,910	△2,127	125,460
当期末残高	106,513	△79,392	27,121	917	2,124,356

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	971,601	819,167	390,587	△85,038	2,096,317
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	593	593			1,186
剰余金(その他資本剰余金)の配当					-
剰余金の配当			△22,171		△22,171
親会社株主に帰属する当期純利益			85,615		85,615
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	593	593	63,443	-	64,630
当期末残高	972,195	819,760	454,031	△85,038	2,160,947

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	106,513	△79,392	27,121	917	2,124,356
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					1,186
剰余金(その他資本剰余金)の配当					-
剰余金の配当					△22,171
親会社株主に帰属する当期純利益					85,615
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△68,540	△16,144	△84,685	△917	△85,602
当期変動額合計	△68,540	△16,144	△84,685	△917	△20,972
当期末残高	37,973	△95,536	△57,563	-	2,103,384

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	272,535	110,128
減価償却費	123,475	109,517
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△24,566	△7,518
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,683	6,659
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△435	604
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	3,505
受取利息及び受取配当金	△21,696	△19,267
支払利息	19,729	18,114
為替差損益(△は益)	10,405	1,988
固定資産売却損益(△は益)	△166	△593
固定資産除却損	10,269	1,079
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△10,000
新株予約権戻入益	△1,526	△888
売上債権の増減額(△は増加)	△58,878	△354,216
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,353	△70,063
その他の資産の増減額(△は増加)	△272	△1,056
仕入債務の増減額(△は減少)	△289	△50,007
前受金の増減額(△は減少)	294,408	△340,740
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,993	△7,216
その他の負債の増減額(△は減少)	28,525	106,540
小計	642,473	△503,428
利息及び配当金の受取額	18,462	22,420
利息の支払額	△20,202	△18,172
法人税等の支払額	△19,904	△60,955
役員退職慰労金の支払額	△16,174	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	604,654	△560,135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△569,064	△729,587
定期預金の払戻による収入	451,060	1,215,159
有形固定資産の取得による支出	△51,738	△105,959
有形固定資産の除却による支出	△9,000	△560
無形固定資産の取得による支出	△13,630	△25,996
投資有価証券の取得による支出	△88,578	△40,360
投資有価証券の売却による収入	-	16,500
貸付けによる支出	-	△2,500
貸付金の回収による収入	3,595	5,055
保険積立金の積立による支出	△6,536	△5,932
保険積立金の解約による収入	3,678	-
その他	93	536
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280,120	326,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	236,922	△105,000
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△170,467	△168,349
配当金の支払額	△22,041	△22,171
新株予約権の行使による株式の発行による収入	8,944	1,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,357	△194,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,053	△1,075
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	376,838	△429,219
現金及び現金同等物の期首残高	176,842	553,680
現金及び現金同等物の期末残高	553,680	124,461

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別の事業活動を展開しており、「自動二輪車等部品事業」、「工作機械事業」の2つを報告セグメントとしております。

「自動二輪車等部品事業」は、主に自動二輪車等の変速及び制御装置部品、エンジン部品等の製造、加工及び販売を行っております。「工作機械事業」は、主にインデックスマシン等各種専用工作機械及びボーリングヘッド等省力化設備ユニットの製造、加工及び販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成に用いた会計処理の方法と概ね同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	自動二輪車等 部品事業	工作機械事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,198,172	2,174,807	3,372,980	—	3,372,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	24,738	24,738	△24,738	—
計	1,198,172	2,199,546	3,397,718	△24,738	3,372,980
セグメント利益	42,761	240,370	283,131	14,673	297,804
セグメント資産	1,189,508	2,493,446	3,682,954	1,416,489	5,099,444
その他の項目					
減価償却費	104,623	18,851	123,475	—	123,475
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	20,572	61,312	81,885	—	81,885

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金1,138,162千円であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	自動二輪車等 部品事業	工作機械事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,124,917	2,541,096	3,666,014	—	3,666,014
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	23,548	23,548	△23,548	—
計	1,124,917	2,564,645	3,689,563	△23,548	3,666,014
セグメント利益	11,649	104,367	116,017	13,469	129,486
セグメント資産	934,117	2,723,792	3,657,909	949,059	4,606,969
その他の項目					
減価償却費	82,431	27,085	109,517	—	109,517
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7,652	182,033	189,685	△2,000	187,685

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金689,720千円であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
2,465,398	849,587	57,994	3,372,980

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	ベトナム	合計
929,227	317,502	1,246,729

3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ヤマハ発動機(株)	837,324	自動二輪車等部品事業
(株)都築製作所	513,918	工作機械事業

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
3,179,262	463,840	22,912	3,666,014

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	ベトナム	合計
1,072,699	234,510	1,307,209

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ヤマハ発動機(株)	863,216	自動二輪車等部品事業
佐藤商事(株)	686,673	工作機械事業
(株)シーケービー	501,641	工作機械事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	478円87銭	474円03銭
1株当たり当期純利益	49円48銭	19円30銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	49円16銭	19円29銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	218,994	85,615
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	218,994	85,615
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,425	4,436
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	29	3
(うち新株予約権)(千株)	(29)	(3)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,124,356	2,103,384
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	917	—
(うち新株予約権)(千円)	(917)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,123,438	2,103,384
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	4,434	4,437

(重要な後発事象)

該当事項はありません。